

61 農山漁村振興交付金

【令和5年度予算概算決定額 9,070 (9,752) 百万円】
 (令和4年度補正予算額 1,440百万円)

<対策のポイント>

地域の創意工夫による**活動の計画づくり**から**農業者等を含む地域住民の就業の場の確保**、農山漁村における**所得の向上**や**雇用の増大**に結びつける取組に対し、取組の発展段階に応じて**総合的に支援**し、農林水産業に関わる地域のコミュニティの維持と農山漁村の活性化及び自立化を後押しします。

<政策目標>

都市と農山漁村の交流人口の増加（1,540万人 [令和7年度まで]）等

<事業の全体像>

中山間地域等

最適土地利用総合対策

ソフト
ハード

地域における土地利用構想の作成から実現までの取組を総合的に支援します。





土地利用構想の作成

簡易な整備

農地の粗放的利用

中山間地農業推進対策

ソフト

中山間地域での収益力向上に向けた取組や農村型地域運営組織（農村RMO）形成を支援します。




栽培技術のeラーニング

農村RMOによる農用地保全

山村活性化対策

ソフト

振興山村での地域資源を用いた地域経済の活性化の取組を支援します。



山菜を利用した商品開発

農山漁村発イノベーション対策

ソフト

農山漁村発イノベーション推進事業

地域活性化のための活動計画づくりや農山漁村の地域資源を活用し、新たな価値を創出する取組等を支援します。




地域活性化のための活動計画づくり（※1）

地域資源を活用した新商品開発

※1 農山漁村振興交付金の全ての対策について活用が可能

農山漁村発イノベーション整備事業

ハード

農山漁村の地域資源を活用し、新たな価値を創出する施設整備を支援します。




農産物加工・販売施設の整備

集出荷・貯蔵・加工施設の整備

農泊推進型



景観等を利用した高付加価値コンテンツの開発

農福連携型



障害者等の農産物栽培技術の習得等

情報通信環境整備対策

ソフト
ハード

インフラ管理やスマート農業等に必要な情報通信環境の整備を支援します。



通信施設の整備

農山漁村地域

情報発信

↑
↓

就業移住

都市部

ソフト

都市農業機能発揮対策

都市農業への関心の喚起や多様な機能の発揮に資する取組を支援します。



都市農地貸借による担い手づくりへの支援

コミュニティの維持と農山漁村の活性化・自立化

※（関連事業）農山漁村発イノベーション委託調査事業

61-4 農山漁村振興交付金のうち 農山漁村発イノベーション対策

【令和5年度予算概算決定額 9,070 (9,752) 百万円の内数】

<対策のポイント>

農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、新事業や付加価値を創出することによって、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る取組等を支援します。

<事業目標>

農山漁村発イノベーションに取り組んでいる優良事業体数の増加（100事業体 [令和7年度まで]）等

<事業の内容>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業^{※1}

- ① 地域活性化に向けた活動計画策定、関係人口創出、地域づくり人材育成、情報発信等を支援します。
- ② 地域資源を活用した商品開発、デジタル技術の活用に係る専門人材の派遣・育成等を支援します。
- ③ 農泊の実施体制の整備、観光コンテンツの磨き上げ等の取組を支援します。
- ④ 農福連携の普及啓発、障害者等の農林水産業に係る技術の習得、専門人材の育成等を支援します。

2. 農山漁村発イノベーション整備事業^{※1}

- ① 農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援します。
- ② 農泊の推進に必要な古民家等を活用した滞在施設等の整備を支援します。
- ③ 農福連携の推進に必要な障害者等が作業に携わる生産施設等の整備を支援します。

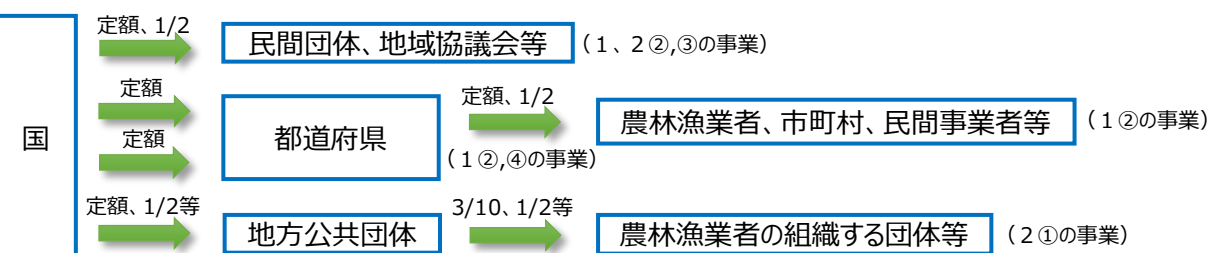
※1 旧 地域活性化対策、旧 農山漁村発イノベーション対策、旧 農泊推進対策、旧 農福連携対策を再編
 ※2 農山漁村振興交付金の全ての対策について活用が可能

(関連事業)

農山漁村発イノベーション委託調査事業

農山漁村発イノベーション推進に係るエビデンスに基づく施策企画・立案の充実を図るため、所得創出効果等の施策効果を測定するための委託調査を実施します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業

①地域活性化型



②農山漁村発イノベーション創出支援型



③農泊推進型

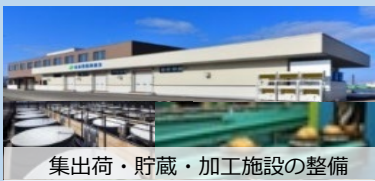


④農福連携型



2. 農山漁村発イノベーション整備事業

①定住促進・交流対策型産業支援型



②農泊推進型



③農福連携型



【お問い合わせ先】 農村振興局都市農村交流課 (03-6744-2493)

61-5 農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農泊推進型） 【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>
 農山漁村の活性化と所得向上を図るため、地域における**実施体制の整備**、食や景観を活用した**観光コンテンツの磨き上げ**、ワーケーション対応等の**利便性向上**、国内外への**プロモーション**等を支援するとともに、古民家等を活用した**滞在施設**、**体験施設の整備**等を一体的に支援します。

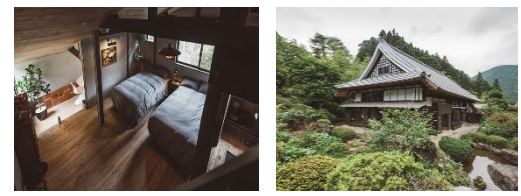
<事業目標>
 都市と農山漁村の交流人口の増加（1,540万人 [令和7年度まで]）

<事業の内容>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農泊推進型）

- ① **農泊推進事業**
 - ア 農泊の**推進体制整備**や観光関係者とも連携した**観光コンテンツの開発**、**Wi-Fi等の環境整備**、**新たな取組に必要な人材確保等**を支援します。
 【事業期間：上限2年間、交付率：定額（上限500万円/年等）】
 - イ 実施体制が整備された農泊地域を対象に、**インバウンド受入環境の整備**や**ワーケーション受入対応**、**地元食材・景観等を活用した高付加価値コンテンツ開発等**を支援します。
 【事業期間：上限2年間、交付率：1/2等】
- ② **広域ネットワーク推進事業**
戦略的な国内外へのプロモーション、農泊を推進する上での課題を抱える地域への**専門家派遣・指導**、**利用者のニーズ等の調査を行う取組等**を支援します。
 【事業期間：1年間、交付率：定額】

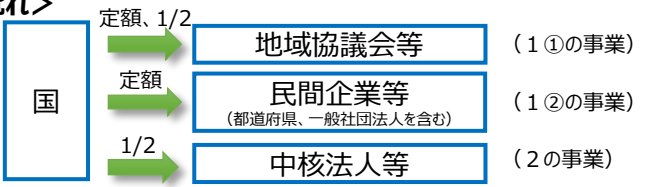
<事業イメージ>



2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農泊推進型）

- ① 農泊の推進に必要な**古民家等を活用した滞在施設**、**一棟貸し施設**、**体験・交流施設等**の整備を支援します。
 【事業期間：上限2年間、交付率：1/2（上限2,500万円※）】
 （※ 遊休資産の改修：上限5,000万円、市町村所有の遊休資産を宿泊施設として改修：上限1億円）
- ② 地域内で営まれている**個別の宿泊施設の改修**を支援します。
 （農家民泊から農家民宿へ転換する場合、促進費が活用可能）
 【事業期間：1年間、交付率：1/2（上限1,000万円/経営者かつ5,000万円/地域）】

<事業の流れ>

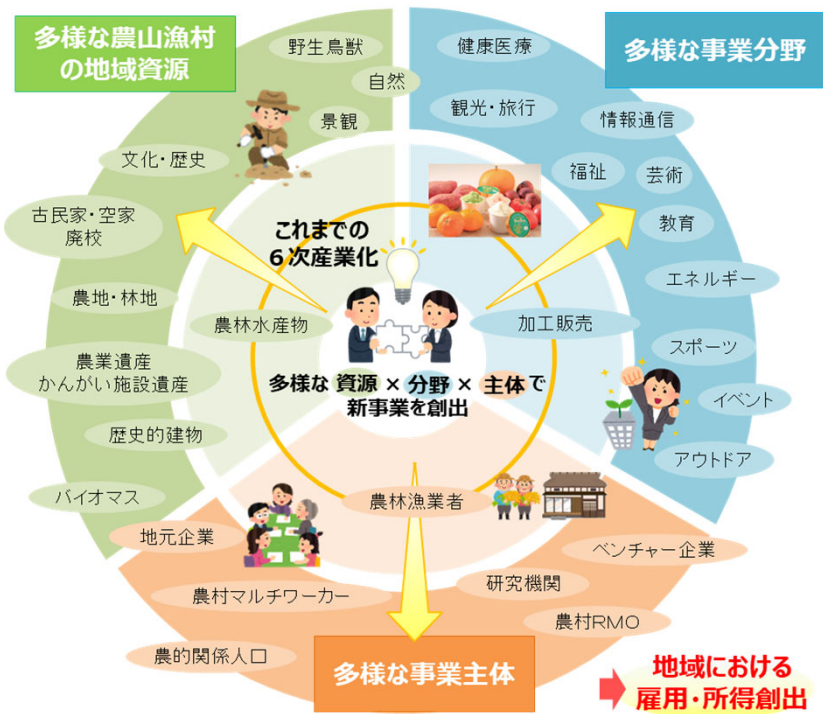


【お問い合わせ先】 農村振興局都市農村交流課（03-3502-5946）

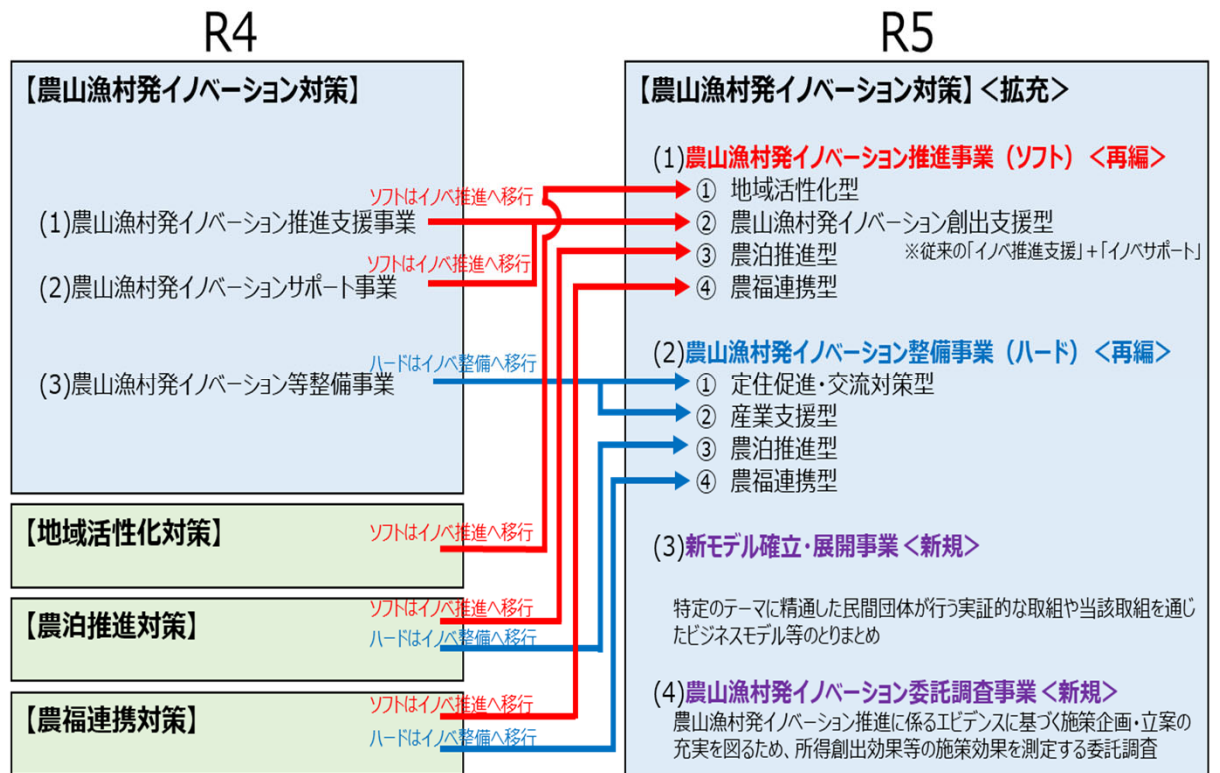
農山漁村振興交付金のうち 農山漁村発イノベーション対策の再編

- 従来の「6次産業化」を発展させて、農林水産物以外の多様な地域資源を活用し、多様な主体の参画によって新事業や付加価値の高い創出を図る「農山漁村発イノベーション」の取組を進めるため、令和4年度に農山漁村振興交付金に「農山漁村発イノベーション対策」を創設。
- 令和5年度からは、この取組の趣旨を鑑み、農泊や農福連携等の取組も、「農山漁村発イノベーション対策」として実施

○「農山漁村発イノベーション」の概念図



○「農山漁村発イノベーション対策」の再編（案）



【参考】農山漁村発イノベーション対策の再編（詳細）

R4

R5

